

舞曲は、音楽と踊りが結びついた形式で、さまざまな時代や地域で発展してきました。それぞれの舞曲は、その歴史的背景や文化に根ざした特徴を持っています。以下に、いくつかの代表的な舞曲の種類、その歴史、発祥地について説明します。

1. メヌエツト (Minuet)

- **発祥地:** フランス
- **時代:** 17 世紀中頃 - 18 世紀
- **特徴:** メヌエツトは、3 拍子で優雅なテンポの舞曲です。ルイ 14 世の宮廷で人気を博し宮廷舞踏として盛んに踊られた、古典派音楽ではしばしば交響曲や弦楽四重奏の第 3 楽章として用いられました。踊り手が互いに向かい合って行うペアダンスで、その優雅さと礼儀正しさが特徴です。

2. サラバンド (Sarabande)

- **発祥地:** スペイン(元はラテンアメリカ)
- **時代:** 16 世紀後半 - 18 世紀
- **特徴:** サラバンドは、3 拍子でゆっくりとしたテンポの舞曲です。もともとはスペインに由来し、情熱的で官能的な踊りとして始まりましたが、後にフランス宮廷で採用され、より荘厳で静かな性質のものに変わりました。バロック組曲の一部としてよく使われました。

3. ジーグ (Gigue)

- **発祥地:** イギリス(アイルランド系とも言われる)
- **時代:** 16 世紀 - 18 世紀
- **特徴:** ジーグは、軽快で活発なダンスで、一般に 6/8 拍子または 12/8 拍子で演奏されます。イギリスからヨーロッパ全土に広まり、バロック組曲の終曲としてしばしば取り入れられました。リズムカルで跳ねるような性格が特徴です。

4. ガヴォツト (Gavotte)

- **発祥地:** フランス
- **時代:** 17 世紀 - 18 世紀
- **特徴:** ガヴォットは、4/4 拍子または 2/2 拍子で、中庸なテンポの明るく快活なダンスです。バロック時代において宮廷舞踊として人気があり、バロック組曲の一部としても取り入れられました。踊り際には、時折ジャンプや足を軽く叩く動作が含まれます。フランスの民族ブローが起源とされている。

5. ワルツ (Waltz)

- **発祥地:** オーストリア、ドイツ(ウィーンが特に有名)
- **時代:** 18 世紀後半 - 現代
- **特徴:** ワルツは 3 拍子の軽快なリズムが特徴で男女がペアで回転しながら踊る社交ダンスとしても人気。ウィーンの宮廷で発展し、19 世紀にはヨハン・シュトラウス 2 世の作曲によって世界中で人気を博しました。ペアで踊り、独特のホールドポジション(最初の組位置)が特徴的です。

6. タンゴ (Tango)

- **発祥地:** アルゼンチン、ウルグアイ
- **時代:** 19 世紀後半 - 現代
- **特徴:** タンゴは、4 分の 2 拍子または 4 分の 4 拍子の情熱的で官能的な力強いリズムを持つ舞曲です。男女が密着して踊るスタイルが特徴的。ブエノスアイレスの労働者階級の間で生まれ、やがてヨーロッパにも広まりました。密着したポジションで踊られ、複雑なステップやスウィーベル(止める動作)が含まれます。音楽と踊りの双方が深い感情表現を特徴とします。

7. フラメンコ (Flamenco)

- **発祥地:** スペイン(アンダルシア地方)
- **時代:** 18 世紀 - 現代
- **特徴:** フラメンコは、スペイン南部のアンダルシア地方のロマの文化に根ざした舞曲で。ギター演奏、歌、踊り、手拍子が一体となった総合芸術で、リズムや身体の動きが非常に力強く、感情的な表現が特徴です。タップシューズを使っ

た足の打ち鳴らし(サパテアード)が有名。15世紀ころにインド等からスペインに移住してきたロマ(インド北部)の人々によって生まれた

8. ポルカ (Polka)

- **発祥地:** チェコ(ボヘミア地方)
- **時代:** 19世紀 - 現代
- **特徴:** ポルカは、2/4拍子の軽快で速いテンポの舞曲で、跳ねるようなステップが特徴の舞曲。19世紀前半にチェコのボヘミア地方で生まれ、ヨーロッパ全土で人気を博しました。シンプルなステップでリズムカルに踊られることが多く、カントリーダンスとしても親しまれています。

9. サンバ (Samba)

- **発祥地:** ブラジル
- **時代:** 20世紀初頭 - 現代
- **特徴:** サンバは、2/4拍子の速いリズムで、エネルギッシュで生き生きとした舞曲です。ブラジルのカーニバルで特に人気があり、サンバのビートに合わせて踊る姿が象徴的です。踊り手は活発に腰を動かし、ステップが軽やかであることが特徴です。

10. チャチャチャ (Cha-Cha-Cha)

- **発祥地:** キューバ
- **時代:** 1950年代 - 現代
- **特徴:** チャチャチャは、4/4拍子で、明るく楽しいリズムが特徴の舞曲です。1950年代にキューバで生まれ、ラテンアメリカのダンス音楽として世界的に広まりました。簡単なステップで楽しめるため、社交ダンスとしても人気があります。

11. フォックストロット (Foxtrot)

- **発祥地:** アメリカ
- **時代:** 20世紀初頭 - 現代

- **特徴:** フォックストロットは、4/4 拍子のリズムカルな舞曲で、滑らかなステップと優雅な動きが特徴です。アメリカの社交ダンスとして発展し、スウィング音楽とともに人気を博しました。速いバージョン(クイックステップ)も存在します。

12. サルサ (Salsa)

- **発祥地:** キューバやプエルトリコ等カリブ海地域の様々な音楽や文化が融合して生まれた音楽であり、ニューヨークのラテンコミュニティで発展したことからその発祥地はニューヨークとされることが多い。
- **時代:** 20 世紀 - 現代
- **特徴:** サルサは、キューバのソンヤルンバ、マンボ、プエルトリコのプレンバやボンバ、ニューヨークのジャズが融合して生まれた舞曲です。4/4 拍子で、複雑なリズムと情熱的な動きが特徴。ペアで踊り、リードとフォローのやり取りが重要な要素となっています。

1940 年代頃からキューバのソンヤルンバがアメリカに渡り、ニューヨークのラテンコミュニティで人気を博した。

1960 年代に入るとプエルトリコ系のミュージシャンたちがこれらの音楽にジャズやロックなどの要素を取り入れ、より複雑で洗練されたリズムとアレンジを生み出した。

1970 年代にはニューヨークのふぁにあ・レコードを中心としたミュージシャンたちが「サルサ」という名前でこの新しい音楽を世界に広めた

サルサはその後にも様々な国の音楽や文化を取り込みながら進化を続け現在では世界中で愛されるダンスミュージックになっている。

サルサという言葉はスペイン語で「ソース」や「調味料」を意味する。様々な音楽や文化が混ざり合って生まれた音楽であることを象徴している。

サルサは音楽だけでなく、ペアダンスとしても人気がある。基本ステップに加え様々なターンや複雑な動きがあり、高い技術と表現力が求められる。

サルサは世界中で様々なスタイルが生まれていて、ニューヨークスタイル、LAスタイル、キューバスタイルなどがある。

13. ボレロ(Bolero)

1.スペイン起源のボレロ

発祥地 スペイン

18世紀末にセギディーリャという舞曲から派生した。3拍子の軽快なダンス音楽。カステネットやギターを伴奏に、歌いながら踊るのが特徴。19世紀にはヨーロッパ中に広まり、クラシック音楽にも取り入れられた。有名な例としてはラヴェルのバレエ音楽「ボレロ」

2.キューバ起源のボレロ

発祥地 キューバ

キューバ起源のボレロは19世紀末に生まれ、2拍子のゆったりとした歌謡曲。「ソン」という音楽に影響を与え、後にメキシコやラテンアメリカ全体に広まる。現在、ボレロというと、こちらのキューバ起源のものを指すことが多い。

どちらのボレロもスペイン語の「volar」(飛ぶ)に由来するといわれていて、その軽快で情熱的なリズムが特徴。

14. マズルカ(Mazurek)

発祥地 ポーランド

民族舞踏、舞曲

16世紀にはポーランドの貴族の間で流行し始める。

17世紀にはヨーロッパ諸国へ、19世紀にはイギリスやアメリカにも広がりを見せる。元々はポーランド民謡の歌が付き、バグパイプの伴奏で踊られることもあった。

特徴 3拍子で2拍目もしくは第3拍目にアクセントが置かれる独特のリズム。
地方によって様々な種類があり、テンポの速い「マズル」、ゆっくりとした
「クヤヴィヤック」、非常に速い「オベレク」等があります。

特にポーランドの作曲家ショパンは地方のマズルカの要素を統合し芸術作品として昇華させた。

マズルカはポーランドの文化的重要な一部であり、様々な場面で踊られたり演奏されたりしている。特にポーランドの国家「ドンブロフスキのマズルカ」はマズルカのリズムを取り入れた勇壮な曲として知られている。